2025年
新6年志望校別特訓説明会

六甲特訓

日能研関西

◆ 学校紹介 ◆

中高一貫教育のメリットを生かし、効果的でゆとりのある教科指導をしています。生徒たちの成長に応じた取り組みが行えるように6年間で2年ごとに区切っていますが、特に、中1・中2の段階での基礎学力の養成を重視しており、予習・復習・家庭学習の基本的な学習習慣を確立できるよう、きめこまかな指導がされています。また、中3・高1では広く深い学力の充実・将来への進路を考えることを重視、高2・高3では文系・理系に分かれ、受験への意識を高め、目標の達成に向けて学力を完成します。職員室は対面式で、生徒の質問対応等、とてもコミュニケーションがとりやすいです。食堂や学習センターでは、中学生は午後6時まで、高校生は午後8時まで勉強することができます。

大学への進学

東大・京大・阪大・神大への進学多数（卒業生数174名に対して、計43名・うち現役25名）。
国公立大へは卒業生数の4割程度66名が現役で合格。国公立大医学部へは14名合格（現役5名）。

演劇部、音楽部など8つの文化部（他に美術部、化学部、生物部、物理部、地理歴史研究部、囲碁将棋部）と、サッカー・アメフトなどの12の運動部（他に弓道部、陸上競技部、剣道部、野球部、テニス部、卓球部、バスケットボール部、バレーボール部、ラグビー部、バドミントン部）があります。活動日は、学業に支障のないように週3日以内です。

以前TVで放送された「体育祭」は、千人の生徒が一致団結して行う総行進が名物で、短い準備期間の中、すべて高3の上級生が下級生を指導します。高3と中1が前後になることもあり、成長の度合いがうかがえます。「文化祭」は、展示・ステージの内容・予算の管理・警備も高2の文化祭委員が行います。委員の一人は「しんどい思いをしながら『お願いをする』『感謝の気持ちを伝える』を大事にしたいと学んだ」と話していました。

トピックス

「1937年設立」・・・あえて標高200mの場所を選んで、創設されました。

「学習センター」・・・6万冊の図書館を併設し、最上階の5階にあり、大阪湾を一望できる。

「For Others, With Others」・・・世界各国で教育事業を行うイエズス会の教え。

「他者のために、他者とともに生きる人間」を輩出。

「総行進」・・・勇壮で精巧な「総行進」は体育祭名物。NHK総合青春100Kで放送された。

You Tubeにもアップされており、6列交差やユニークな図柄は一見の価値あり。

「中1指導員」・・・人物・学力ともに優れた高2生4名を先生方が選抜。1学期間、入学間もない中1生の、身のまわりの世話をする。6年後の卒業式にも出席。

「六甲の英語」・・・六甲学院の先生が、大学入試問題を体系的にまとめた高校生用の英語教材。

「くま先輩の日記」・・・X(旧:Twitter)で六甲学院のありのままの日常風景の1コマを紹介。

2025年度 六甲学院中学校 生徒募集要項概略

【日 程】

1, 募集人員	A日程 約 140 名、B日程 約 50 名
2, 受験資格	2025年3月小学校卒業見込みの男子で、 <u>保護者宅から通学可能な者。</u> 通常は午前8時15分までに、日番(日直)の者は午前8時10分までに登校必要。
3, 出願方法	WEB 出願
4, 受験料	20,000 円/各日程 ※WEB 決済時の事務手数料は別途ご負担
5, 出願手続き	2024年12月20日(金)9時～2025年1月10日(金)17時
6, 受験料納付方法	出願時にクレジットカード、コンビニ払いまたはペイジーにて。
7, 試験日	A日程：2025年1月18日(土) 午前8:30 集合(講堂) 9:00～10:00 国語(60分) 120点 10:20～11:20 算数(60分) 120点 11:40～12:30 理科(50分) 80点 合計 320点 12:30～12:45 アンケート(15分)
	B日程：2025年1月21日(火) ※A受験して不合格なら10点加算 午前8:30 集合(講堂) 9:15～10:15 国語(60分) 120点 10:35～11:35 算数(60分) 120点 合計 240点 11:35～11:50 アンケート(15分)
8, 合格発表	A日程：2025年1月19日(日)11:00～13:00(WEBサイト)不合格のみ点数表示
	B日程：2025年1月22日(水)17:00～19:00(WEBサイト)不合格のみ点数表示
9, 入学手続	A日程：入学金 280,000 円 納付期限：2025年1月20日(月)15時まで 手続き書類送付期限：2025年1月24日(金)必着
	B日程：入学金 280,000 円 納付期限：2025年1月23日(木)15時まで 手続き書類送付期限：2025年1月23日(火)必着
10, 合格者登校日	合格者登校日第1回：2025年2月1日(土) 合格者登校日第2回：2025年2月8日(日) (制服等採寸日) ※上記登校日は、内容が異なりますので、すべての出席が必要となります。

■ 中学入試データ

◆ 入試状況 ◆

【六甲A】

	A	B	C		※	D	B÷A	C÷D
	募集数	志願者数	受験者数	受験率	欠席者数	合格者数	倍率	実質倍率
2019	145	276	267	97%	9	165	1.90	1.62
2020	145	327	309	94%	18	168	2.26	1.84
2021	145	252	235	93%	17	164	1.74	1.43
2022	145	279	253	91%	26	167	1.92	1.51
2023	145	303	283	93%	20	161	2.09	1.76
2024	145	294	275	94%	19	162	2.03	1.70

【六甲B】

	A	B	C		※	D	B÷A	C÷D
	募集数	志願者数	受験者数	受験率	欠席者数	合格者数	倍率	実質倍率
2019	40	532	258	48%	274	116	13.30	2.22
2020	40	597	283	47%	314	122	14.93	2.32
2021	40	475	218	46%	257	126	11.88	1.73
2022	40	507	240	47%	267	156	12.68	1.54
2023	40	595	294	49%	301	174	14.88	1.69
2024	40	622	318	51%	304	189	15.55	1.68

※2年連続増加していた受験生数が、微減。今後の動向要注意。

※Bは他校との併願受験生もあり、合格者数は募集数の4倍超。

※A・B両受験での特典はこれまでなく、Aからのリベンジは、ほとんどいない。

◆ 入試科目別 ◆

【六甲A】 ※合格最低点は50%前後。どの科目も年度により難度が変わるため三教科偏りのない学力が必要。

	総合					国語					算数					理科				
	配点	受験者平均	合格者平均	合格者最低	合格者最高	配点	時間(分)	受験者平均	合格者平均	最高点	配点	時間(分)	受験者平均	合格者平均	最高点	配点	時間(分)	受験者平均	合格者平均	最高点
2019	400	213.2	237.0	206	307	150	60	83.9	90.2	122	150	60	67.3	79.0	121	100	50	61.6	67.0	89
2020	400	214.3	243.2	213	323	150	60	87.1	93.4	122	150	60	71.5	86.5	131	100	50	55.8	63.3	88
2021	400	206.0	226.5	188	298	150	60	85.6	91.1	125	150	60	66.1	76.3	121	100	50	54.2	59.2	87
2022	400	212.2	235.5	199	308	150	60	90.7	96.4	122	150	60	73.8	85.5	136	100	50	47.7	53.6	80
2023	400	221.4	253.1	213	360	150	60	88.4	96.5	127	150	60	70.2	87.1	143	100	50	62.8	69.6	96
2024	400	229.3	255.7	224	326	150	60	76.2	83.5	118	150	60	95.5	108.8	145	100	50	57.6	63.4	86

【六甲B】 ※形式はAとほぼ同じ。問題の難度がAよりかなり高いが合格最低点は55~60%。

	総合					国語					算数				
	配点	受験者平均	合格者平均	合格者最低	合格者最高	配点	時間(分)	受験者平均	合格者平均	最高点	配点	時間(分)	受験者平均	合格者平均	最高点
2019	300	166.1	201.7	171	258	150	60	96.3	105.6	125	150	60	69.8	96.1	150
2020	300	153.2	195.5	162	242	150	60	79.8	90.6	118	150	60	73.4	104.9	145
2021	300	181.8	211.5	180	258	150	60	84.4	93.7	123	150	60	97.5	117.9	150
2022	300	178.6	206.1	164	269	150	60	92.8	97.8	127	150	60	85.8	108.3	150
2023	300	162.4	196.4	154	262	150	60	80.5	90.8	122	150	60	81.8	105.7	150
2024	300	155.8	187.7	144	265	150	60	80.1	88.8	120	150	60	75.7	98.9	150

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
国語	①論説文 〔漢字の書き取り、空欄補充、具体化の記述、空欄補充の記述、抜き出し、理由の記述〕 ②物語文 〔慣用表現、理由の記述、選択肢、抜き出し、空欄補充の記述〕 ③漢字の書き取り	①論説文 〔指示語の記述、目的の記述、選択肢、空欄補充の記述、慣用表現、具体化の記述、理由の記述〕 ②物語文 〔選択肢、理由の記述、心情の記述、空欄補充の記述〕 ③漢字の書き取り	①論説文 〔具体化の記述、抜き出し、指示語の記述、空欄補充の記述、選択肢〕 ②物語文 〔空欄補充の記述、具体化の記述、選択肢、抜き出し、心情の記述〕 ③漢字の書き取り	今年度も昨年度に続き文章題2題+漢字独立問題の構成であった。全体的な変化はない。分量、記述力重視の傾向に大きな変化はない。対策として、文章を迅速に読み、問いに対応する適切な部分を見つけてまとめる力を身につけることが必要である。空欄補充本文の記述の問題では、空欄の前後の文脈から本文のどこを使うことも求められればよいが、当たり前のことでも求められない。また、選択肢や語句関連の問題なども分量は多くないが、出題されおろし、決してあなごらなはできない。記述力を中心とした、総合的な国語力を試すのが六甲学院の入試問題である。
六甲学院中 A	①計算（順算・逆算） ②平面図形（面積） ③文章題（過不足算） ④立体図形（回転体の表面積） ⑤規則性（分数の数列） ⑥速さ（比の利用） ⑦平面図形（台形の求積） ⑧平面図形（図形上の点の移動） ⑨速さ（汽笛の開こえ方）	①計算（順算・逆算） ②数論（2数の和の大小） ③規則性（86の果乗の十位の数） ④文章題（つるかめ算） ⑤平面図形（回転移動） ⑥速さ（逆比） ⑦推理と論理（逆比の利用） ⑧割合（反比例） ⑨立体図形（影と求積）	①計算（順算・逆算） ②割合（濃度） ③平面図形（角度） ④速さ（規則性） ⑤平面図形（図形の移動と面積） ⑥規則性（場合の数） ⑦速さ（図形上の点の移動） ⑧規則性（試行） ⑨論理（場の果原理）	①は四則計算・逆算1題ずつ。①～⑥は答えのみ、⑦～⑨は考え方を書く形式は例年通り。 1 科目は比較的易しい一行問題が並ぶが、部分点を一切もたらえないので、確実に正解を出す能力が求められる。 2 科目は考え方をしっかり書くことが重要。解答に至らずとも、部分点が細かく与えられるので、解答を導く過程を答案の決められたスペースにまとめていく練習が必要である。数量の関係を分かりやすくまとめた図に表したりする作業や、数量を比に直して考えることを日頃から心掛けたい。
理科	①輪ゴムののび ②花と実、イネの開花条件 ③溶解度に関する計算 ④二酸化炭素の溶解度と圧力の関係 ⑤地震 震源までの距離を求める計算問題 作図による震源の深さの求め方	①気体分子の重さと反応 ②地球の位置と月の見え方 ③自転車のギア ④発芽と光の色、呼吸商、種子を植える密度	①中和と気体発生 ②縮尺や距離による見え方の違い ③周期ゼミ ④トランプラー効果	物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。問題文を正確に読み取ること、グラフや表をうまく利用することや手を動かして書きながら解いていく作業が重要。知識を問われる問題など取るべきところを確実に取る力と、正確な処理が求められる。 基礎知識を確実に定着させておきたい。問題をきちんと読み、自らの知識と結びつけて考える練習が必要である。問題用紙を縦に2分割という特徴的な問題用紙であるため、過去問を利用した練習を積んでおきたい。

■ 特訓概要（今年度版）

◆ 開催校 ◆

岡本校

◆ 受講基準 ◆

「公開模試」の3科目平均偏差が48以上

または、「思考力育成テスト」の3科目平均順位が250位以内

◆ 指導教科 ◆

＜前期＞算数を毎週実施、国語と理科を交互に隔週実施

（例）1週目：算数・国語   2週目：算数・理科

＜後期＞三科目毎週実施

◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	理科	算数 (社会)	学習力育成テスト※ ・公開模試 六甲特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成テスト or 合格力実践テスト or 入試実戦模試

(本科クラス) 国語 150分・算数 200分・理科 150分・(社会 100分)

(本科発展クラス) 国語 200分・算数 250分・理科 150分・(社会 100分)

◆ 授業時間 ◆

- 前期 -		- 後期 -	
09:40～12:20	学習力育成テスト 公開模試	09:45～12:30	合格力育成・合格力実践テスト等 公開模試
12:20～12:45	食事休憩	12:30～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業① (100分)	12:45～14:25	授業① (100分)
14:35～16:15	授業② (100分)	14:35～16:15	授業② (100分)
		16:25～18:05	授業③ (100分)
		18:05～19:05	ふり返り

※ 後期のふり返りは、特訓の宿題や、その日のテストの振り返りを、各自集中して取り組む時間です。
特訓担当と算数チューターに個別に質問できます。

（集中して課題に取り組むことで、一週間の学習リズムに弾みをつけます。）

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは、原則、特訓開催校である岡本校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

※ 4科目受験の方は、開始時間は9:00となります。

◆ 特訓保護者会 ◆

年4回実施

(第1回3月初旬、第2回夏期前、第3回9月下旬頃、第4回12月初旬頃に実施)

第1回保護者会…特訓担当者紹介、入試結果報告、特訓指導方針と年間計画、前期指導内容など。

第2回保護者会…生徒の状況報告、夏期指導内容など。

第3回保護者会…生徒の状況報告、後期指導内容、併願校の紹介など。

第4回保護者会…冬期・受験前の学習アドバイス、受験当日の動き、親の心構えなど。

◆ 特訓イベント ◆

① 六甲学院中 入試シミュレーション

後期に3回実施。直近3か年の入試問題を、入試本番と同じ時間で実施。その後、解説と得点の仕方のレクチャーを行います。解答用紙は、各特訓担当が手採点し、原則、翌週成績表とともに返却。本番で、どのように取り組むべきかを経験し、合格へつなげます。

② 六甲学院中学校 見学会

例年、9月下旬か10月上旬に実施しています。

六甲学院の先生方からのお話や、年により在校生からアドバイスをいただき、本番に向けてのモチベーションアップを図ります。

③ 私学の魅力 徹底研究 六甲学院中

例年は6月ごろに実施しています。

日能研主催の学校の先生による講演会です。

◆ 特訓カリキュラム ◆

※以下の表は、昨年版です。

<六甲特訓カリキュラム>

授業時間 (前期) ①12:45~14:25 ②14:35~16:15
(後期) ①12:45~14:25 ②14:35~16:15 ③16:25~18:05 演習18:05~19:05

	回数	算 数	回数	国 語	理 科
前期 (2月~7月)	1	立体図形 I	1	ぬき出し ①	テキスト第1回 生物①/化学①
	2	立体図形 II			
	3	立体図形 III	2	ぬき出し ②	テキスト第2回 地学①/物理①
	4	立体図形 IV			
	5	立体図形 V	3	記述 ①	テキスト第3回 生物②/化学②
	6	数論 I			
	7	数論 II	4	記述 ②	テキスト第4回 地学②/物理②
	8	数論 III			
	9	文章題 I	5	選択肢	テキスト第5回 生物③/化学③
	10	文章題 II			
	11	文章題 III	6	記述 ③	テキスト第6回 地学③/物理③
	12	文章題 IV			
	13	平面図形 I	7	総合①	テキスト第7回 生物④/地学④/化学④
	14	平面図形 II			
	15	平面図形 III	8	総合②	テキスト第8回 生物⑤/地学⑤/物理④
	16	平面図形 IV			
	17	平面図形 V	9	総合③	テキスト第9回 地学⑥/化学⑤/物理⑤
	18	平面図形 VI			
	19	速さ I	10	総合④	テキスト第10回 生物⑥/化学⑥/物理⑥
	20	速さ II			
夏期講習	1	夏期特訓①	1	夏期特訓①	夏期特訓①
	2	夏期特訓②			
	3	夏期特訓③	2	夏期特訓②	夏期特訓②
	4	夏期特訓④			
	5	夏期特訓⑤	3	夏期特訓③	夏期特訓③
	6	夏期特訓⑥			
後期 (9月~1月)	1	入試問題演習	1	選択肢演習①	六甲の生物①
	2	入試問題演習	2	選択肢演習②	六甲の生物②
	3	入試シミュレーション I	3	入試シミュレーション I	入試シミュレーション I
	4	入試問題演習	4	空欄補充演習①	六甲の地学
	5	入試問題演習	5	空欄補充演習②	六甲の物理①
	6	入試問題演習	6	本文抜粋演習①	六甲の物理②
	7	入試問題演習	7	本文抜粋演習②	六甲の化学①
	8	入試シミュレーション II	8	入試シミュレーション II	入試シミュレーション II
	9	入試問題演習	9	記述力強化演習①	六甲の化学②
	10	入試問題演習	10	記述力強化演習②	六甲の化学③
	11	入試問題演習	11	記述力強化演習③	六甲入試問題演習①
	12	入試問題演習	12	文章総合読解演習	六甲入試問題演習②
	13	入試シミュレーション III	13	入試シミュレーション III	入試シミュレーション III
	14	入試問題演習	14	入試問題演習	六甲入試問題演習③
	15	入試問題演習	15	入試問題演習	六甲入試問題演習④
	16	入試問題演習	16	入試問題演習	六甲入試問題演習⑤

■ 国語の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

今年も昨年に続き、大問二題に漢字10問の形式で、文章題は論説文（祝辞）と物語文でした。

大問一の文章は人生論が題材で、馬淵俊介氏の「東京大学入学式祝辞」からの出題でした。東大での4年間をどのように生きるかを書いた文章で、自分のこれまでの経験をもとに様々なメッセージが書かれているという内容でした。

大問二は、高校生の女の子が主人公で、幼馴染の男の子に恋心を抱くことでの気持ちの変化が中心に描かれている文章です。複雑な人間関係であり女心を問うものもあるため、小学生男子の受験生にとって少々難度の高い問題でした。他者の立場を正しく理解することがポイントになっています。

具体的な設問の種類は、記述の分量が多く、全体の6割程度。残りは漢字・選択・抜き出しがほぼ同じ比率での出題でした。記述の分量ではトータルで400字程度。

それにしても9400字程度の文章を読み、400字を超える記述をこなそうとすると相当なスピードが求められます。語句の単独問題はなく、漢字も難度のばらつきはあるものの、大きく差のつく問題ではないことを考えると、文章読解と記述力が勝敗を分けることになります。

◆ 特訓の内容 ◆

特訓の前期は記述と抜き出しを中心とした問題演習、後期は六甲学院と併願校の入試問題の研究が中心となります。国語の学力は一朝一夕に身につくものではありませんが、正しい方法さえ身につければ、算数や理科同様に確実に得点力をアップできる教科なのです。本科ではしっかりと基礎を身につけ、特訓では六甲学院に合格するために必要な知識を学んでいきましょう。なお、六甲特訓では作業を重視したいと考えています。問題の読み違いや解答の条件の見落としなどを防ぐために、問題文や問いの文に線を引く習慣を身につけさせたいわけです。ご家庭でも、そういったポイントに注意しながら授業ノートなどをチェックしてあげてください。

最後に六甲学院で出題される文章はスタイルが変わっても伝えようとしている内容そのものは変わることがありません。文章の表面だけを見て惑わされるのではなく、どういった考えを受験生に伝えようとしているか、それを読み取れるように指導していきたいと考えています。合格を目指して日々努力を積み重ねましょう。

■ 算数の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

六甲学院の算数は、1枚目は1番～6番で計算と一行題形式、2枚目は7番～9番で大問形式、3枚目が解答用紙（単位記載済）となっており、2枚目は式・計算を要求されます。この2枚目は、答えにつながる式・計算が書いてあれば、部分点をもらえますが、逆に答えのみだと指示違反ということで0点になるので注意が必要です。

出題単元は、全単元に及びますが、特に文章題と図形と速さの出題が目立ちます。合格の目安は、5割～7割で、平均すると6割程度とることが必要です。

受験対策としては、全ての分野について、基本・標準レベルの問題を、確実に解けるようにしておくことです。1枚目の問題については、速くて正確な計算力を身につけ、部分点がないので正確な答えを求める姿勢が必要です。2枚目の問題については、日頃から色々な問題にあたり、作業を通して内容を理解し、素早く正確に処理する能力を養っておく必要があります。また、1枚目の問題が易しいとは限りませんので、問題の取捨選択も大切です。

◆ 特訓の内容 ◆

前期の特訓授業では、『6年本科テキスト』に掲載されているレベルの問題の中でも、六甲学院の入試問題によく出題される典型的な考え方を含んだ問題に取り組んでいきます。夏期以降に入試問題を解くときに必要な、基礎学力を身につけるためです。毎回の授業の初めに、小テストをします。その内容は、計算・一行題や前回の学習範囲の問題をチェックする「確認テスト」、または『6年本科テキスト』と合わせて使用する『算数強化ツール』からの出題になる「ツールテスト」のいずれかです。特訓の学習内容の定着をはかり、基礎学力の向上を目指します。

夏期・後期の特訓授業では、実際の入試問題を入試本番より少し短い50分で、合格点をとる練習をし、各問題の攻略法を毎回指導していきます。また、後期に計3回行う「入試シミュレーション」では、実際の入試問題を用いて、本番と同じ時間・科目順で3教科一気に取り組んでいただきます。各担当が採点し、成績表と合わせて返却、その時々モチベーションアップにつなげます。

なお、前期の特訓の宿題は、授業の直し・「確認テスト」または「ツールテスト」の直し・特訓授業前の午前中に行った育成テストや公開模試の直しとなり、個人差はありますが、およそ60分で終わる分量です。授業で扱った問題やテストのまちがい直しに取り組む際、図やグラフを用いた場合は、宿題ノートにも同じように取り組むことが大切です。ノートに、答えしか書かないタイプのお子様には、ノートチェックの際にコメントを書いたり、口頭で指導しています。

また、後期の特訓授業後のふり返りの時間では、入試問題の直し、当日のテストの直し、補充プリント等の宿題を、集中して効率的に行います。算数だけでなく、理科・国語の質問も可能です。

■ 理科の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

六甲学院の理科問題数は、大問4題の構成で、生物・地学・物理・化学の四分野から、各1題の出題となっています。物理・化学分野だけでなく、生物分野においても計算を要する問題が出題されること、グラフや表を用いた物が多く、さらに複数のグラフを絡めて自分なりに数値を求めながら解いていく物も多く出題される点が特徴といえ、しっかりとした処理能力を身につけておくことが必要とされます。また、物理・化学分野においてはオーソドックスな出題だけでなく、表の値をグラフ化していく作業を要するもの、その場で与えられた条件や考え方をもとに解いていくものが目立ちます。もちろん、生物や地学における基本知識もしっかりと問われます。

このように、六甲学院の入試問題は基礎事項の確立とグラフや表の処理能力、さらには正確な計算力が要求され、しっかりとした力を身につけておかなければ、合格点には届かないものといえます。

また、年度によって、難度がぶれること、問題の並びが難度順になっていないことなど、受験生にとって対策の打ちにくい学校と言えますが、しっかりと学力を強化し、取れるところを確実に取れるようになれば合格をつかむことができるものです。

◆ 特訓の内容 ◆

前期特訓内容は、前頁の特訓カリキュラムにあるように、全単元の基本を網羅した教材を用い、考え方を中心に授業を実施します。

また、夏期講習中に、もう一度この教材（前期教材10回分）を全問解き直し、定着をはかることとなります。

つまり、土台固めとしての学習を①授業、②夏期講習課題の2回繰り返すこととなります。

夏期講習中の特訓では、物理分野の応用力強化と化学分野の表やグラフの扱い方の強化をはかります。

後期特訓では、9～10月に六甲学院の過去問を単元別に分類した教材を用いて、六甲学院の出題形式に慣れる学習を行います。その後、11月からは、実際の六甲学院の入試問題によって得点力のアップをはかる内容となります。

家庭学習は、当日の特訓の間違い直しと、残った問題、育成テストまたは公開模試の直しとなっています。概ね30分程度で終えることができるものとなっています。